

## 様式第2号（第5条関係）

受給者番号 

--	--	--	--	--	--	--

（この欄は記入しないでください）

## 不育症治療支援事業受診等証明書

下記の者については、流産（生化学的流産を除く。）、死産又は早期新生児死亡の既往が2回以上あることから、不育症の検査及び治療を行いました。つきましては、保険適用外の医療費を下記のとおり領収したことを証明します。

年 月 日

医療機関の名称及び所在地

電話番号

主治医氏名

印

医療機関記入欄（主治医が記入すること）

（ふりがな） 受診者氏名	（ ）	生年 月日	昭和 平成	年	月	日（ 歳）
今回の治療期間（※1）	年 月 日 ～ 年 月 日					
領収金額合計 （※2）	¥ 円（※3の合計と一致すること）					

※1： 治療期間については、当該年度の4月1日から、当該年度末の3月末までを対象とします。左記期間内の治療期間を記載してください。治療が終了していなくてもかまいません。

※2： 領収金額の一致する治療期間内の領収書を別途添付して下さい。院外処方等で、別途費用が発生する場合は、薬局において「不育症治療支援事業受診等証明書（薬局用）」を作成することとなりますので、当該費用の記載は不用です。

【実施した保険適用外の検査及び治療】

区分	項目	実施の有無	金額（※3）
検査 （一次スクリーニング）	抗リン脂質抗体	抗カルジオリピン $\beta_2$ グロブリンI複合体抗体	
		抗カルジオリピンIgG抗体	
		抗カルジオリピンIgM抗体	
		ループスアンチコアグラント	
	夫婦染色体検査		
検査 （選択的検査）	抗リン脂質抗体	抗PEI gG抗体（抗フォスファチジルエタノールアミン抗体）	
		抗PEI gM抗体（抗フォスファチジルエタノールアミン抗体）	
		抗PS/PT抗体（フォスファチジルセリン依存性抗プロトロンビン抗体）	
	凝固因子検査	第XII因子活性	
		プロテインS活性又はプロテインS抗原	
		プロテインC活性又はプロテインC抗原	
		APTT（活性化部分トロンボプラスチン時	
治療	低用量アスピリン療法		
	ヘパリン療法（ヘパリン在宅自己注射） ※ヘパリノイド（ダナパロイドナトリウム）によるものを含む。		